

もう一度いうよ。おたくのお父さん

のたろん
春号

家でゴロゴロしてませんか？



めがねのウサギが
ほんかごちやごちやいってるんだけど。。。
かーさん お茶。

めがね
はずすこともありますから



横須賀には、さまざまな市民活動グループがあります。

福祉

災害救助

環境保全

観光

健康

科学技術

・・・ 分野はさまざま。

お父さんは プロフェッショナル かも!?

市民活動団体の役割の中で輝くのが、お父さんの経験や実績。
プロフェッショナルなチカラが市民活動を支えているんだよ!

消防団を30年
やってたさ。

写真なら
まかせとけ!

西地区なら
ワシの庭じゃ!

野草のことは
くわしいぞ。

地域の活動をしている方、自分のやりたいことを
みつけて活動している方、多くのお父さんたちが
ぼくのいるサポートセンターを利用しています。

知らなかった...



サポートセンターに
遊びに来ませんか？

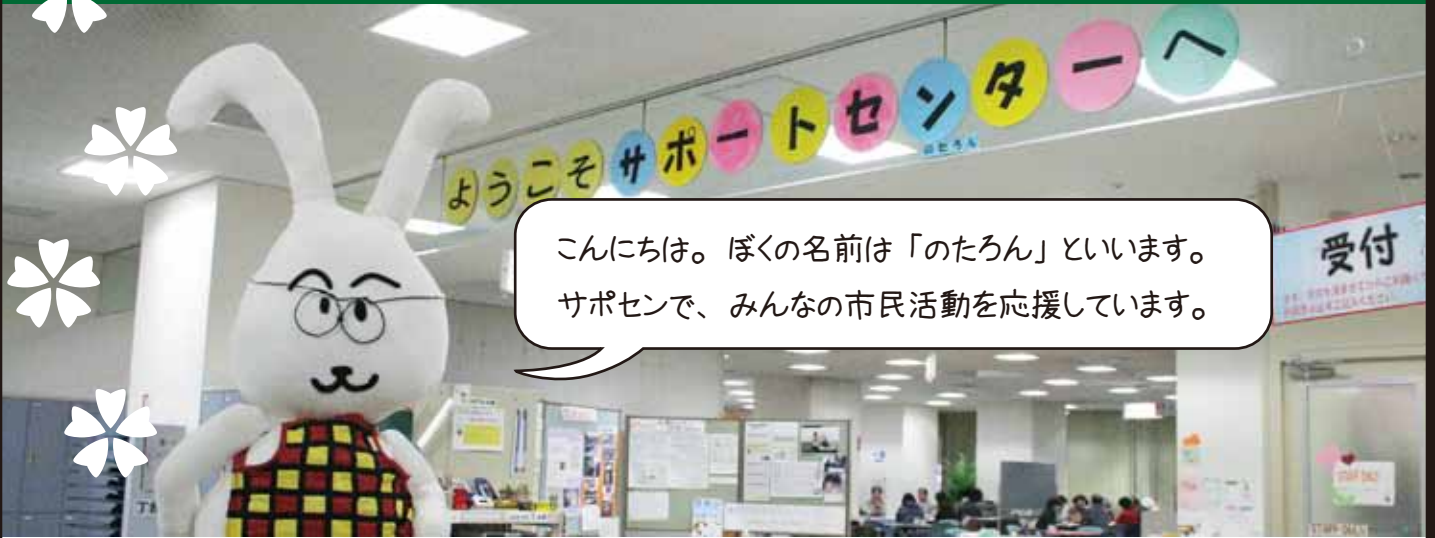


のたろん
春号

(((すかっこの 市民活動情報)))



サポートセンターってどんなところ？



こんにちは。ぼくの名前は「のたろん」といいます。
サポセンで、みんなの市民活動を応援しています。

パソコンが使える

チラシいっぱい



専門の本が揃ってる

新聞もある



駅から近い

夜おそくまで使える



「横須賀市立市民活動サポートセンター」って長い名前だね。みんなサポセンって呼んでいます。ぼくのすみか、サポセンは京浜急行汐入駅から徒歩 1 分、横須賀芸術劇場の 1 階。

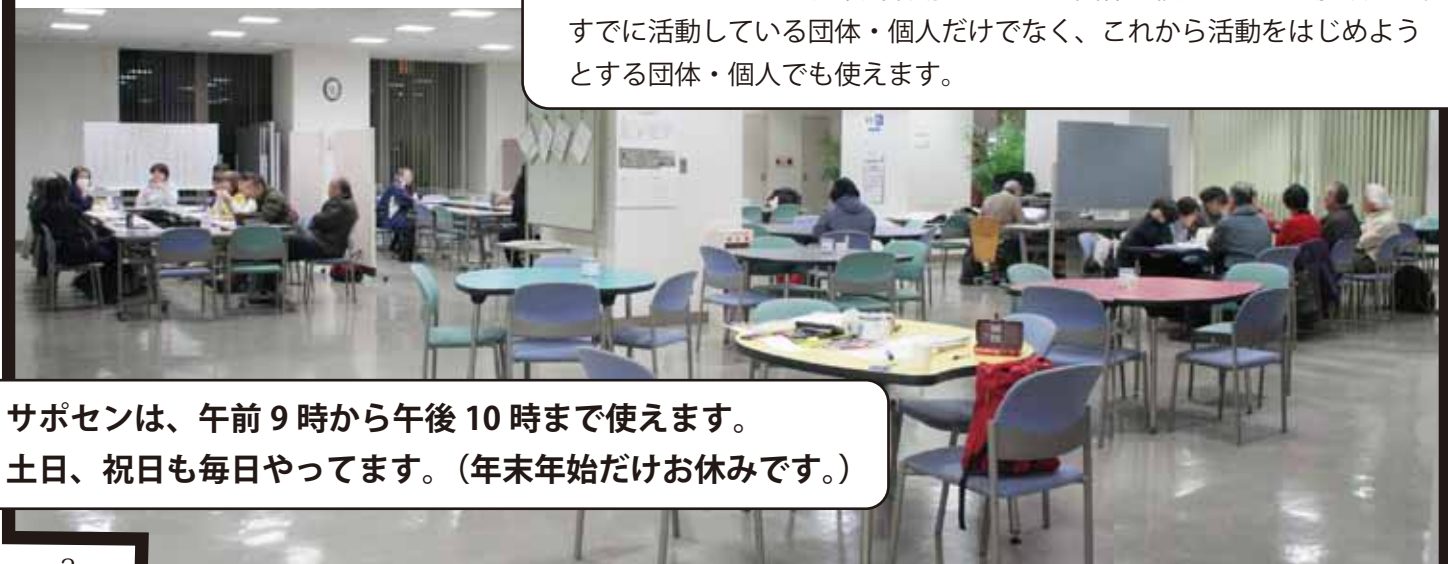
玄関にはチラシやポスターがあります。情報は豊富で新鮮。ここを見ていると横須賀の市民活動の「今」がわかるんだ。パソコンで調べるより早いよ。情報が集まる場所は、みんなの集まる場所の証し。チラシとポスターは、サポセンの中でイチオシ、やりたいことも見つかるぼくの自慢のコーナーです。

館内は間仕切りのないひろ～いスペース。ワンフロアのスペースには大きく分けて 3 つの役割があります。「打合せのためのスペース」「印刷作業ができるスペース」「活動をアピールするためのスペース」です。なかでも印刷作業をするスペースは、印刷機、裁断機、紙折機、丁合機、コピー機、パソコンなどの設備や道具が充実していて、みんなとっても喜んでくれます。

また、子どもと来る方のためのキッズコーナー、多目的トイレ、給湯、本棚、横断幕なんかも印刷できる大型プリントサービス、ホワイトボード、一時預かりロッカー、プロジェクターやアンプ、パイプイスの貸出しも！あ～も～ できることがいっぱいありすぎて、言い尽くせないです！

チラシを作ったり、活動の告知をしたり、イベントの用意をしたり、市民活動はやることがいっぱい！そんな時にサポセンは強い味方です。

サポートセンターは、市民活動をおこなう団体・個人のための施設です。すでに活動している団体・個人だけでなく、これから活動をはじめようとする団体・個人でも使えます。



サポセンは、午前 9 時から午後 10 時まで使えます。
土日、祝日も毎日やってます。(年末年始だけお休みです。)

のたろんフェア 2015、電源コードをたぐり寄せながら指示が飛ぶ。今年もあの男が帰ってきた。フェアを陰で支える技術者、まちづくり市民の会会長の平間整さんにお話を伺った。

昭和16年横須賀で生まれる。19年に海軍パイロットだった父が体を壊し、一家で父の故郷山形県の米沢に移った。小学校3年の2学期(24年)に親戚へ里子にでた。「汽車に揺られて山形から横浜に出てきてはじめて海を見ましたよ。親族の家にはぼつんと入った。よくはしてもらったけれど、お父さんお母さんが居ないからけっこう寂しい思いをした」という。25年父が他界。「チチキトク」の電報を読んだとき何か悪いことが起こったと本能的にわかり、涙がぼろぼろあふれた。

28年、母、兄、妹が、母の親戚の多い横須賀に移る。平間さんも一緒に家族4人の生活が始まった。家族の生活を支えるため、母は勤労婦人となった。はじめてもらった給料であんぱんを買ってくれた。子ども3人が呼ばれて食べると言われ、「私これで死んじゃうんじゃないか?」と思ったという。

高校は育英資金を借り、兄も通った県立横須賀工業高校電気科に進学した。勉強の傍ら、小さい子どもを集めて学習塾のようなアルバイトを行う。秋葉原で材料を買って鉱石ラジオを作ったりもした。

高校を卒業し、人気企業だった昭和電工に就職。横浜工場で電気関係のメンテナンス、工事、設計といろいろな部門を経験した。多くの資格も取った。その一方、就職後1年間で入学金を貯め、関東学院大学の夜間部に入学、電気工学を学んだ。

平成5年、クイーンズスクエア横浜ガスタービン発電所に出向した。今まで取ってきた資格と経験を生かし、主任技術者として、発電所の建設から、維持、運用まで行った。ガスタービン発電はジェット機のエンジンの転用型で、立ち会い試験のため、何回かカリフォルニアやインディアナポリスへ行った。良い思い出

ある。

平成15年、妻にみてもらっていた母の介護が限界に近づいてきていると感じた。平間さんは、決心して会社をリタイア、介護生活となった。



次の年、在宅介護に明け暮れる平間さんを心配した妻から、掲示板で見た『女と男のおしゃべりクッキング』に「お父さん行ったらどう?」と言われた。会場で、主催団体のまちづくり市民の会に誘われ入会、市民活動のはじまりだった。

入会して2年目、会からのたろんフェアの実行委員を出すことになり平間さんに白羽の矢が立った。後に副実行委員長も経験し、運営ボランティアに退いてからも、平間さんのいないフェアは考えられない。

地元では、熱心な介護経験を買われ、民生委員を任される。民生委員を降りたあとは、浦賀地区ボランティアセンターの相談員の声がかかり、現在も活動を続けている。

5年前には、食道がんが見つかった。14時間の手術を経験し、自分の生死を痛切に感じた。手術の前、民生委員を引き継げるよう資料揃えたり、万一の憂いを残さないように準備をした。「死に関しては、怖いとは思わない。いつお呼びが来るか知らないけれど、毎日楽しくやっています」少年時代に父を亡くし、兄も若くして亡くなった。短い言葉に、平間さんの人生哲学がうかがわれる。

「ボランティア活動は、世のため人のためと言うけれど、最後は自分のためなんだよ」人生のきびしさ、人のあたたかさ、強烈な体験が、世と人と自分自身の結びつきを強くしている。生きることと市民活動の自然な融合を感じた。

(はこざき)

市民公益活動ポイント制度 本格実施します。



活動に参加したり
ボランティアすると
100円のポイント券が
もらえるのだ。



ポイント制度とは



みんなにもっと、市民公益活動に親しんでもらい、活動の励みやきっかけとなるような横須賀市の制度です。市民公益活動に参加した人はポイント券がもらえます。もらったポイント券は、寄付、市の有料施設、お買い物など、決められた場所で使い道を選ぶことができます。



まもろう

ボランティア ルールとマナー



ほう・れん・そう (報告・連絡・相談)

「こんな小さいことだよ」あなたが思って報告しなかったことが、実は活動団体にとってとても重要なことだったり、報告がなかったことでその後の活動が円滑に進まなくなったりすることがあります。せっかくがんばってボランティア活動したのにそれじゃあ台無しです。『ほう・れん・そう (報告・連絡・相談)』は大切です。「今度でいいや」と思わないで、なにかあったら、忘れないうちに伝えましょう。ところで、「ボランティア やめたいなあ」と思ったら？これも報告が必要です。迷っているときは、仲間やスタッフに相談してみましょう。相談することで原因が解消できて迷いもスッキリするかもしれません。

約束は守る

無理せずに

目的を理解

プライバシー厳守

ほう・れん・そう

さて、今年の畑はどうなるでしょう。ちなみに、この原稿を書いている現在の時点でミントはまだ芽を出していません。早く出るというな。

(おおしまりえこ)

そんなことをしながら、市民活動にちよつと似てるよねとニヤニヤしました。時間も手間もかかります。晴れの日も雨の日も風の日もあります。気がつけば思いもよらぬところから芽をだしていたりします。芽が出なくて心配になることもあります。でも芽が出たときには、たくさんの人に教えたくありません。実がなったらみんなにおすそ分けをしたくなります。ほら、ちよつと市民活動と似てますよね。

ミントの種は本当に本当に小さくて風がちよつとでも吹いたら飛んで行ってしまいそうです。土をふるい、細心の注意を払いながら種を撒きます。よく陽が当たるようにうすく土をかぶせて、早く芽が出ますようにと念じながら水をかけます。

2月の「のたろんフェア」を過ぎるころには、今年は自宅菜園で何を作ろうかと気もそぞろになります。3月上旬、待ちきれずに冬の間荒れ果てた畑へ鍬を振りました。土の匂い、3月に入って急に生え始めた雑草たち。シーズン到来、いくらでも作業はあります。畑の除虫対策にはミントがいいよと知り合いですので、ドアを開けて風が吹いたらミントの香りがするのいいかも……。雨上がりにはミントの香りがする庭っていいじゃん！そんな思い付きで畑のまわり一面にミントを育てることにしました。

おひるね



***** サポセンtopics トピックス

運営懇話会

サポートセンターの運営懇話会は公募の市民で構成され、サポセンのより良い運営を目指して意見や情報の交換をします。会議は年4回開催され、自由に傍聴できます。

2年任期の懇話会構成員がこの春改選されました。メンバーはのたろんWEBで見ることができます。また、懇話会の議事録も公開されていますので、懇話会の方々がどんな話し合いをしているかを知ることができます。

懇話会の皆さんと一緒に横須賀の市民活動を盛り上げていきます。2年間、よろしくお願います！

のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

- ◆サポセン発信情報 (カメラ付き携帯で読み取れます)
 - ◆Eメール info@yokosuka-supportcenter.jp
 - ◆サポートセンターのホームページ
- 「のたろん Web」は「のたろん」で検索♪



のたろんジャーナル

のたろん

検索

情報誌「のたろん」春号 (通巻 62 号) 2015 年 4 月 1 日

発行 横須賀市市民活動サポートセンター

編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート

横須賀市本町 3-27 (京浜急行汐入駅徒歩 1 分)

TEL 046-828-3130

FAX 046-828-3132

市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

